

会報 いわて



一般社団法人

岩手県臨床検査衛生検査技師会



第 28 回岩手県医学検査学会

日 時： 令和7年 11 月 30 日（日）

会 場： 前沢ふれあいセンター

担 当： 南部地区臨床検査技師会

無事、終了しました。

学会実行委員会の皆さま、参加された皆さま、お疲れさまでした。



岩手県医学検査学会会長より挨拶

第 28 回岩手県医学検査学会お疲れさまでした。

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会 会長 高橋一博

去る 11 月 30 日に前沢ふれあいセンターで行われた第 28 回岩手県医学検査学会は会員参加 78 名、賛助会員メーカー関係者 26 名、講師 2 名、公開講演一般参加者 60 名の計 166 名の参加を頂き成功裏に終了致しました。午前中に一般演題 8 題、その後ランチョンセミナー、教育講演、公開講演となりました。ご協力頂きました皆様、参加された皆様、ありがとうございました。

今回は各地区持ち回りで行っていた県医学検査学会の最後として南部地区が担当致しました。広い地区内でしたが、zoom を活用した綿密な打ち合わせのもと準備を進めてまいりました。

学会ホームページを立ち上げ、学会告知や参加登録の受付、協賛頂いた企業の掲示とホームページへのリンクなども行われております。渉外と致しまして、奥州・北上エリアの施設連絡責任者に公開講演ポスター掲示の依頼、奥州 FM、ワイワイネット、胆江日日新聞、岩手日日新聞、岩手日報社、水沢テレビ等への案内、奥州市の広報「おうしゅう」の掲示などが行われました。

一般演題ではこれから活躍していく若手技師の練習の場としての位置付けもありましたが、実際には中堅技師からの演題が出されていました。臨床研究は倫理委員会を経て発表されるもので、昨今では個人情報保護の観点から従来の包括同意ではなく、個別同意が必要となるなどハードルが上がっていますが、症例報告は臨床研究ではなく発表可能と位置づけられていますので、ぜひとも若い力を発揮して頂きたいと思います。

ランチョンセミナーは昨年に引き続きロシュ・ダイアグノスティクス株式会社が担当しました。今回は岩臨技との共催とすることで、学会参加された他の企業の方にもセミナーのご案内ができたことはとても良かったと思います。

教育講演のゲノム医療に関してはこれからも発展していく分野で、現在ではまだ治療に結びつく方の割合が少ないようですが、これから増えていくことが予想されます。

公開講演では一般参加者からの質問もあり、有意義な講演になったと思います。

今回の学会で感じた事です、学会準備に際し、多くの施設から実行委員が集まり、一つの事を成し遂げていくというのは岩臨技定款第 4 条に規定されていることにまさに一致するのではないのでしょうか。

参加者の中には未だ会員ではないが入会予定者として扱ってほしいとの依頼も頂きました。誘って頂いた施設の方には本当に感謝申し上げます。

次回は岩臨技学術部と理事により企画されます。実務委員として皆様に声がかかる事もあるかと思います。

皆様、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。





タスクシフト講習会参加報告

「タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」に参加して

奥州市総合水沢病院 及川恵美

11月23日いわて県民情報交流センター（アイーナ）で行われた「タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」に参加しました。受講者は3つのグループに分かれて、コンテンツ1、コンテンツ2、コンテンツ3と分けられた内容についての実技動画視聴・実技講習を行いました。

初めて触れる器具等が多く、三方活栓などの扱いにも四苦八苦…、「難しい！！」と感ずることばかりでしたが、「いつも検査室に届けられている痰はこうやって採取されているんだなあ～」と知り、検体が採取される過程を知ることの必要性も感じました。

また、実技講習を通して、職員の人数や施設規模もそれぞれの施設によって異なるため、馴染みのある検査とそうでない検査とがあり、また今まで自分がどのような業務を担当してきたかによっても、あまり苦勞せずに習得できる検査とそうでない検査とが個人によってもさまざまなのだらうと感じました。

そしてやはり検査をするうえで検査手技のみならず患者さんへの説明や声かけの大切さ、多職種連携の重要性を感じとても貴重な充実した研修会でした。

最後に、実務委員の方々、講師の先生方大変ありがとうございました。





第10回学術部研修会参加報告

11/2(日)に開催された第10回岩臨技学術部研修会に参加させていただきました。

岩手県立宮古病院 藤井愛夏

講演では、赤血球と上皮細胞の鑑別のポイントについて学びました。赤血球形態の鑑別は内腔、辺縁、多様性の有無の3つがポイントであると知り大変勉強になりました。私は赤血球形態の鑑別が苦手でしたが、これらのポイントを早速業務に活かしていきたいと思います。上皮細胞は、辺縁や核、染色性などを観察することが重要であると再認識しました。

尿沈渣実習では、様々な標本を拝見しました。類似細胞との鑑別点や鏡検する際の注意点など講師の方々から多くのことを学び、不安点も解消することができました。

また、マルベリー小体やヘモデジリン顆粒など臨床でも見かけることが少ない標本を拝見でき貴重な経験となりました。

血液検査・尿検査のデータ、尿沈渣の標本から症例を推測するRCPCでは、血液検査のデータだけでなく尿定性や尿沈渣のデータも病態を推測する上で重要な情報であると再認識しました。今回の症例では、尿定性と尿沈渣の乖離や上皮細胞の鑑別、赤血球形態など重要なポイントが多くありました。その中でも、血液像だけでなく尿沈渣における白血球分類も病態を推測する上で大切であると学びました。自施設では尿沈渣の白血球分類はしていなかったので参考にさせていただきたいと思います。

実技研修はとても貴重で有意義な時間でした。ご指導いただいた講師の方々に深く感謝申し上げます。





第 11 回学術部研修会報告

令和 7 年度第 11 回岩臨技学術部研修会を終えて

岩手県立磐井病院 臨床検査技術科 藤原教徳

令和 7 年 10 月 18 日、令和 7 年度第 11 回岩臨技学術部研修会を開催しました。テーマは血液型検査の手技を再確認です。今年度から輸血部門を担当して初めての実技研修会でした。

最初は参加者が少なく、今は輸血実技研修会の需要はないのかなあと感じることもありましたが、様々な方の協力もあり最終的には当初の予定通りグループを編成しての実習を運営することができました。参加していただいた方々、ありがとうございました。何か一つでも血液型検査について整理するきっかけとなるものがありましたら幸いです。

開催に至るまでに実務委員の方々、また試料用製剤の手配をしていただいた大学の方々には多大なご協力をいただきました。当日の試料作成においても、右も左もわからずまるでフリーザを目の当たりにしたベジータのように心の底から震え絶望している私を尻目に千葉由紀さん、上遠野智さん、小田原聖さんには手際よく作業していただき無事研修会を迎えることができました。

研修会を終えての感想は、任期を終えるまで前途多難だなあという想いが一番大きいですが、みなさんのお力添えをいただきながら取り組んでいきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





検査と健康展 in やはぱーく 開催報告

検査と健康展 in やはぱーく 無事に終了しました！

公益事業部 部長 川村 将史

検査と健康展 in やはぱーく（以下、健康展）の当日は朝の準備の段階では雨が降っていましたが、開始時刻になると快晴になり、晴天に恵まれ、200名もの多くの方にご来場いただきました。

健康展の内容としては、「臨床検査紹介パネル」、「AED体験コーナー」、「エコー体験コーナー」、「覗いてみよう顕微鏡コーナー」、「健康モニタリング装置 ASTRIM FIT 体験」、「学生・保護者進路相談会コーナー」の6ブースを設置し、来場者に体験していただきました。その中で、「エコー体験コーナー」ではフルーツゼリーを利用して中身のフルーツを色々な角度でプローブを当てることで見え方や形の違いを体験していただきました。体験した子供からは「みかんの形がわかって面白かった」など好評でした。「覗いてみよう顕微鏡コーナー」ではHE 標本や血液像を観察していただきました。小学3年生の子は「胃と肺がみたいです！」と自ら希望し、自分でピントを合わせる事が出来た時にはとてもうれしそうな笑顔をみせてくれました。「学生・保護者進路相談会コーナー」では現役の専門学校教員から、中・高校生に対して、臨床検査技師の育成学校から、資格取得までの流れや学費などを説明していただきました。中学生からは「医療系に興味があった。学校によって学費が違うことがわかった」などの感想をいただきました。

参加していただいたスタッフにおかれましては日々の業務が忙しい中にもかかわらず、臨床検査技師の普及と健康増進のために頑張ってくださいました。また、快くスタッフを送り出してくれた勤務先の方々にもこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。





研修会・講習会情報

第13回 岩臨技学術部研修会（移植検査部門）

テーマ：交差適合試験について再確認

日時：2026年1月15日（木）18:00～19:00

会場：Web 開催（zoom を使用）

<https://www.iwateamt.or.jp/event/3466>

第15回 岩臨技学術研修会（生理検査部門）

テーマ：初心者からベテランまで、みんなで頸動脈エコーレブルアップしよう！

日時：2026年1月17日（土）13:00～16:40

ハイブリッド開催（アイーナ 803 号+zoom）

※Peatix からの申込となります。

<https://ganringi-15th2025.peatix.com/>

【北日本支部研修会】

<https://www.jamt.or.jp/studysession/area/branch/kitanihon/#000731>

臨床血液部門研修会

テーマ：血液検査を拓く！未来へのアップデート

日時：2026年1月19日（月）～2月23日（月）

場所：オンデマンド配信のみ

病理細胞部門

テーマ：診断のその先へ ～知識、技術、そして発信～

日時：2026年2月1日（日）～2月28日（土）

場所：オンデマンド配信のみ

岩臨技 HP には他団体主催の研修会情報も掲載しています。

最新情報は岩臨技 HP、日臨技 HP をご覧ください。

岩臨技 HP <https://www.iwateamt.or.jp/archives/event>

日臨技 HP <https://jamtjamtis.jamt.or.jp/Jamtis/EventPublic/Home.aspx>





今後の研修会・講習会情報

令和8年2月7日 精度管理調査報告会（Web 配信）

※ 血液検査部門、一般検査部門の研修会も予定しています（日程未定）



医学検査学会 情報

【日本医学検査学会】

テーマ：今、命を未来へつなぐ-イノベーションへの架け橋-

日時：2026年9月26日（土）～9月27日（日）

場所：幕張メッセ 国際会議場、国際展示場、
TKP 東京ベイ幕張ホール





学術部からのお知らせ

◎ Peatix による研修会申込・決済の試験運用開始のお知らせ

すでにメールにてお知らせしておりますが、オンライン決済と参加者管理をまとめて行えるイベント・コミュニティプラットフォーム「Peatix」を導入いたします。

これまで研修会の申し込みには日臨技システムを使用しておりましたが、今後は「Peatix」から申し込みを行っていただきます。来年度からの本格導入に向け、今後日臨技へ申請する研修会より試験的に運用を開始いたします。

また、ご要望の多かったオンデマンド配信の導入も検討しております。

新しい仕組みへの移行にあたり、皆さまにはご不便のないよう努めてまいります。

引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

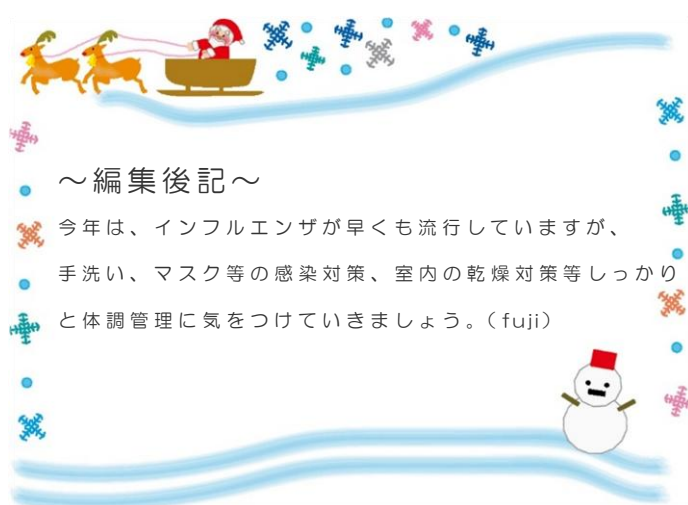
岩臨技 学術部グループページ [URL : https://ganringi-gakujutsu.peatix.com/](https://ganringi-gakujutsu.peatix.com/)

お願いです 会員情報の更新忘れずに!!

現在、岩臨技の各種研修案内やお知らせ等は、メール配信での連絡が主となっております。日臨技システムでの会員情報更新や施設連絡責任者の登録等。変更があった場合には忘れずに更新をお願いいたします。



(い わ て)



～編集後記～

今年は、インフルエンザが早くも流行していますが、
手洗い、マスク等の感染対策、室内の乾燥対策等しっかりと
体調管理に気をつけていきましょう。(fuji)

会報「いわて」第355号 2025.12

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：高橋 一博

事 務 局：下川 波歩

編集責任者 佐々木 貴美子

藤倉 由規

〒020-0885

岩手県盛岡市紺屋町 5-14 ギボーンプラザ 402 号

TEL：090-9325-6062